

広島高速5号線シールドトンネル工事の進捗状況等について

1 要旨・目的

広島高速道路公社が事業を進めている広島高速5号線のシールドトンネル工事の進捗状況等について報告する。

2 現状・背景

シールドトンネル工事については牛田地区の掘削が完了し、引き続き早期完成に向けて工事を推進している。

また、公社と受注者はこれまでと同様に安全・安心を第一として早期完成を目指し工事を継続していくこととしており、公社は引き続き工事費の精査を進めていながら、契約変更について契約約款に則って必要な手続きを進めていくこととしている。

3 概要

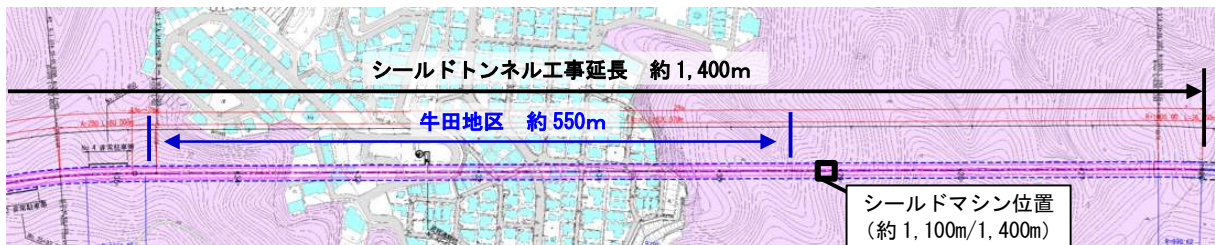
(1) 対象者

—

(2) 事業内容（実施内容）

ア シールドトンネル工事の掘削状況

シールドトンネル工事については、地表面変位の抑制などの対策を取りながら掘削を進め、5月24日に牛田地区を通過したところであり、今月17日時点で工事延長約1,400mのうち、約1,100m地点に到達している。なお、牛田地区通過後は、これまでの昼間に加えて夜間も掘削作業を行っている。



イ トンネル工事の完成時期について

高速5号線（トンネル工事）の完成時期については、今後の掘削や掘削完了後の設備工事等を踏まえると、順調に工事が進んだ場合には令和10年上期の見通しとなるが、現在は昼夜施工を実施しており、鋭意工事を進め、一日も早い供用開始を目指す。

なお、シールドトンネルの掘削完了は、掘削開始から牛田地区通過までの実績を踏まえると、令和8年上期の見通しとなる。

(3) スケジュール

—

(4) 予算（単県）

令和6年度 広島高速道路公社出資金・貸付金 645百万円

(5) 今後の対応

引き続き、安全・安心を第一に掘削を進めるとともに、住民の不信や不安を可能な限り払拭できるよう、事業主体である公社や広島市と連携し、適切かつ丁寧な対応に努めながら、着実な事業推進に取り組む。